



震災を口実とした詐欺等に ご注意ください!!



◇都内に東北地方太平洋沖地震を口実とした騙しの電話がかかってきています。

◎岩手にいる親戚をよそおい、「おばあちゃん、地震で私の被害は大丈夫だけど、他の親戚がひどい。皆で話し合って義援金を送ることにしたから100万円を用意して」と話し電話をしてきたもの。

◎偶然、仙台に息子がいる人に電話があり、息子と勘違いして、「大丈夫だったのか？避難場所はどこか？」などと聞いたところ「大丈夫だよ。避難場所じゃ変わるから。それより財布を無くしたからお金を送って欲しい。また電話する。」と話し電話をしてきたもの。

◎息子を名乗る者から電話があり、「地震大丈夫だった？」と言ったが、明らかに息子と声が違うことから、「あなた誰？」と質問したところ、電話が切れたもの
※これらの事例は、警察署あてに相談があり、未然に防止することができました
南千住警察署管内で今年に入り、4件の詐欺事件が発生し、4月に2件発生しました。未遂に終わったのは多数あります
南千住警察署管内で4月に起きた事例
◇4月5日（火）午後8時頃
南千住2丁目に住む女性宅に若い男から

アポ電があり、「オレだよ。喉が痛くて声がおかしい、携帯電話が壊れたから今の携帯番号を教える。株に失敗してすぐに20万円が必要なんでコンビニから振り込んで欲しい」と言われ、息子だと信じられた被害者は、△△銀行の定期預金を解約し、4月6日と7日に100万円ずつ計200万円を振り込んでしまった。

◇4月6日（水）午後2時30分頃
東日暮里1丁目に住む女性宅に若い男から電話があり、「オレが誰だか分かるだろう。東日本大震災で仙台の家が壊れたので修理代を150万円貸して欲しい。東京の友達が家まで取りに行く。」と言われ、甥っ子だと信じた被害者は手元にあった100万円を自宅まで取りに来た男に手渡ししてしまった。

※アポ電・・・お金を振り込ませる（手渡しさせる手段として、被害者にだましの電話をかけてくること
風邪をひいて声がおかしい・携帯番号が変わった・すぐにお金を振込んで欲しい

全て振り込め詐欺です

①息子（孫・甥）さんの変更前の電話番号にかけてみる。②家族や知人に話す号にかけてみる。

不審な電話は

すぐに110番

だまされません!



☆振り込め詐欺撃退法

留守番電話の活用

■ 常時「留守番電話」にセットしておき、電話がかかってきてもとりあえず「留守番電話」で受けましょう。身内の方と「合言葉」を決め、相手が確認できたら受話器を取りましょう。

○留守番電話のメッセージを吹き込み直すのも効果的です。

○「用件の方はお名前と用件をどうぞ。身内の方は合言葉をどうぞ、確認ができなければ電話にはできません。」
「振り込め詐欺対策として、お名前とご用件を確認しています。不審な電話はすぐに警察に通報します。」

※一人暮らしの方は、自分の名前を先に名乗るのはやめましょう

■ ナンバーディスプレイ機能の活用
○別途の契約が必要ですが、電話をかけてきた相手の電話番号がわかるナンバーディスプレイサービスです。詳しくはお近くの電話会社で確認してください。

■「ATM利用限度額」の引き下げ

○ あらかじめ、ATMによる1日あたりの利用限度額を引き下げておくことで万が一振り込め詐欺の被害にあった場合でも、その利用限度額までしか振り込めないこととなりますから、被害を最小限にすることができま。詳しくは、金融機関の窓口で相談してください。